

平成28年 11月 4日
総務部行財政改革推進課

平成28年度 M I E 職員力 アワード※ 募集要領 (案)

1 目的

- 県民に成果を届ける、職員の人材育成 —
- 職員の意欲を高め、自ら変革していく組織風土づくり —

〔改善活動分野〕

意欲的で、成果の著しい職員グループの改善・改革活動のプロセスなどを共有することにより、改善手法等を学び、水平展開につなげる。また、そうした取組を表彰することで、職員の意欲を高め、自ら変革していく組織風土づくりを進める。

〔グッドパフォーマンス分野〕

「志」を持って行動し、あきらめずに頑張って高い成果を出した職員や職員グループの取組を取り上げ、そうした成果や背景の共有・学びを通じて、全庁の組織力の向上につなげる。また、そうした取組を表彰することで、職員の意欲を高め、自ら変革していく組織風土づくりを進める。

2 募集（推薦）対象者

〔改善活動分野〕

職員グループ（部局、課、グループ内の活動のほか、ワーキンググループや職員有志による活動など広く対象とする。）による 応募

〔グッドパフォーマンス分野〕

職員もしくは職員グループ（上記に同じ）を 推薦

3 募集（推薦）対象取組、募集（推薦）部門

〔改善活動分野〕

募集取組は、「みえ県民カビジョン」の実現に向けて、改善・改革に取り組んだあらゆる活動を対象とし、以下の5つの部門とする。なお、取組が複数の部門にまたがる場合は、主な部門を1つ選択するものとする。

【協創推進部門】

「協創」の取組を進めている活動を対象とする部門

例 団体や地域住民などと連携したり、市町とコラボレーションしたりする等、多様な主体と連携・協働・創造を高める取組

【職員力向上部門】

意欲・能力等の職員力の向上に取り組んでいる活動を対象とする部門

例 職員が意欲的に行動できる職場環境づくりの取組や、業務を効率的・効果的に進めるための人材育成の取組

【ワーク・ライフ・マネジメント部門】

ワーク・ライフ・マネジメントの推進に取り組んでいる活動を対象とする部門

例 仕事の効率化、時間外勤務の削減等に向けた取組、休暇取得の促進等の取組、相互支援や対話の促進等の意識・組織風土改革等を推進する取組

【成果向上部門】

実施効果の向上等の成果向上に取り組んでいる活動を対象とする部門

例 施策の目標達成や高い事業成果につながった効果的な業務プロセス改善の取組

【自由テーマ部門】

上記の部門に該当しない自由なテーマの活動を対象とする部門

- 例 県民や地域からの信頼を高める社会貢献活動の取組
- 例 業務を通じた環境負荷の低減や環境創造につなげる取組
- 例 県民生活や県政運営に重大な影響を与える危機発生時の対応や未然防止対策などの取組
- 例 県民の信頼を失う不注意によるミス等を無くするための取組

〔グッドパフォーマンス分野〕

推薦取組は、「みえ県民カビジョン」の実現に向けて、高い成果を出したあらゆる活動を対象とし、以下の3つの部門とする。なお、取組が複数の部門にまたがる場合は、主な部門を1つ選択するものとする。

【ピカイチ部門】

一定期間（平成28年度）中に優れた成績・成果をあげた活動を対象とする部門

- 例 県民の皆さんから注目度の高い成果をあげた取組
- 例 新技術の開発など、有益な発明考案や研究
- 例 困難な課題を克服し、成果をあげた取組

【モハン部門】

一定期間（平成28年度）中に他の職員の模範となる仕事ぶりもしくは仕事の結果を残した活動を対象とする部門

- 例 率先して職場のチームワークを高めた取組
- 例 イクボスとして業務削減・プロセス改善などの業務見直しを積極的に推進した取組
- 例 県民の皆さんから感謝が寄せられる仕事をした取組

【コツコツ部門】

一定期間（平成28年度）以上、地道に努力して結果を残した活動を対象とする部門

- 例 継続して取り組み、県民・職員から信頼を得ている仕事ぶりの取組
- 例 チームワーク良く、連携して結果を積み重ねている取組
- 例 丁寧かつ正確な仕事ぶりで着実に結果を残している取組

4 賞の種類と審査・選定

〔改善活動分野〕

新規採用職員（発表会の運営担当以外）、部局内の改善・改革の推進を担当する職員、政策創造員、職員の中から公募する職員などで構成する審査員（以下、「審査員」という。）（200名程度）が、「審査の視点」ごとに4段階の評価を行い、部門賞、奨励賞を選定する。（審査の視点）

| | |
|--------|---|
| 着眼点 | 多角的な目線で課題解決に向けた分析・検討を行い、取り組んだ着眼点のよい取組であるか。 |
| 成果 | 成果とは何か（成果目標）を意識しながら、実際に成果（結果）が出ている取組であるか。 |
| 現場重視 | 現場体験から得られた知恵や経験を職場で共有、活用、展開している取組であるか。 |
| チームワーク | 職員間のコミュニケーションを活発にし、県庁全体としての組織力を高めていく取組であるか。 |
| 取組姿勢 | 「変えてもいいこと」「変えなくてはいけないこと」の変革に向けて、果敢に挑戦している取組であるか、または、地道に粘り強く継続的に取り組んでいる取組であるか。 |

| 名称（選定数） | 選定方法 |
|---------|---|
| 部門賞（5） | 全審査員の評価点を集計し、上位 20 取組の内、各部門の上位 1 取組を「協創推進部門賞」などの部門賞として選定 |
| 奨励賞（15） | 全審査員の評価点を集計し、上位 20 取組の内、部門賞として選定されなかったが評価の高い取組を「奨励賞」として選定 |

なお、部門賞、奨励賞に選定された取組において、職員提案制度やジュニアボード制度での提案が基になっているものについては、提案者（グループ）も表彰する。

〔グッドパフォーマンス分野〕

審査員が、推薦された取組の成果に対する共感度で評価を行い、部門賞、奨励賞を選定する。

| 名称（選定数） | 選定方法 |
|---------|--|
| 部門賞（3） | 全審査員の評価点を集計し、上位 9 取組の内、各部門の上位 1 取組を「ピカイチ部門賞」などの部門賞として選定 |
| 奨励賞（6） | 全審査員の評価点を集計し、上位 9 取組の内、部門賞として選定されなかったが評価の高い取組を「奨励賞」として選定 |

〔改善活動分野〕〔グッドパフォーマンス分野〕

さらに、部門賞に選定された受賞取組の中から、MIE 職員力 アワード発表会の当日に次の賞を選定・授与する。（ただし、「職員セレクト賞」は事前に選定のための職員投票を実施）

| 名称（選定数） | 選定方法 |
|-------------|--|
| グランプリ（2） | 発表会の当日、知事・副知事の審査により選定（改善活動分野：1 取組、グッドパフォーマンス分野：1 取組） |
| 職員セレクト賞（1） | 事前に庁内アンケートシステムによる職員投票を実施し選定 |
| 来場者セレクト賞（1） | 発表会の当日、県職員以外の来場者の投票により選定 |

5 発表及び表彰

部門賞に選定された職員グループ（グッドパフォーマンス分野は職員もしくは職員グループ）（以下、「受賞グループ等」という。）は平成 29 年 2 月 6 日（月）に開催する「平成 28 年度 MIE 職員力 アワード発表会」において発表（グッドパフォーマンス分野は知事のファシリテーションによるパネルディスカッション）を行う。

また、当日は、「部門賞」には賞状、「グランプリ」、「職員セレクト賞」及び「来場者セレクト賞」にはカップを、知事から授与し表彰する。

なお、改善活動分野において「グランプリ」を受賞したグループは全国都市改善改革実践事例発表会（平成 29 年 2 月 17 日（金）に福山市（広島県）で開催）において本県の代表取組として発表することとする。

6 実施スケジュール

| | |
|--|---|
| H28. 11. 14(月) ~ H28. 12. 26(月) 17:15 | 【募集】 応募取組や推薦取組の内容、添付資料は簡易データベースシステム「D*BOX」を用いて共有する。 |
| H28. 12. 27(火) ~ H29. 1. 13(金) 17:15 | 【審査】 審査員が審査を行い、部門賞、奨励賞を決定する。 |
| H29. 1. 17(火) ~H29. 1. 24(火) | 【職員投票】 部門賞の中から「職員セレクト賞」を選定するため、庁内アンケートシステム「きくすけ」による職員投票を実施する。 |
| H29. 2. 6(月) | 【MIE 職員力 アワード発表会】 於：県庁講堂 発表会では部門賞の受賞グループ等が取組内容を発表（グッドパフォーマンス分野は知事のファシリテーションによるパネルディスカッション）する。また、当日の発表をもとに（県職員以外の来場者の投票により）「来場者セレクト賞」及び（知事・副知事の審査により）「グランプリ」をそれぞれ決定し、表彰式を行う。 |

7 応募方法

D*BOX（下記のURL）に直接入力する。

〔改善活動分野〕

<http://ss110035/dbox/view/index.asp?INFO=TVN3eU1ESXNhekEwTURBeU1BPT0%3D>

〔グッドパフォーマンス分野〕

<http://ss110035/Dbox/view/index.asp?INFO=TVN3eU1ETXNhekEwTURBeU1BPT0%3D>

※ 応募の際の注意事項

- （1）過去2年間の部門賞受賞取組を今年度も応募する場合は、「前回受賞時点からの発展的な成果や工夫した点」が審査の重要ポイントとなるので、そのことをできるだけ明示すること。
- （2）入力の際には、読みやすく、簡潔な表現を心がけること。
- （3）入力内容は、発表会資料やホームページ掲載など、一般への公表を前提とすること。
- （4）複数の所属にまたがる取組については、まとめて1件の応募とすること。

8 その他

・部門賞、奨励賞の選定は審査順位上位の分野を優先するとともに、両分野の部門賞に選定された場合は改善活動分野を優先するものとする。また、これらにより、審査順位を繰り上げて、部門賞、奨励賞を選定することもある。

・改善活動分野において「部門賞」、「奨励賞」を受賞した取組は、事務局より、全国知事会HPの「先進政策バンク」に掲載する。

（参考 <http://www.nga.gr.jp/app/seisaku/>）

※ 「アワード」とは「賞」の意味

問合せ先：総務部行財政改革推進課（TEL059-224-2231）

加藤栄二(PHS 5256)・中村里会子 (PHS 5226)

■MIE 職員力 アワードにかかるスケジュール(案)

